

# 大学院単位認定

この公開講座・セミナー・シンポジウム等は大学院医学研究科の単位認定対象となっております。単位認定の条件や対象科目等は下記をご確認ください。

## 単位認定条件

大学院生の方は、受講後、「出席票」を教務課(大学院担当)までご提出ください。  
出席票は、履修管理システムからダウンロードすることができます。

### 【履修管理システム】

博士課程 : <http://lms.juntendo.ac.jp/>

修士課程 : <http://mst.juntendo.ac.jp/>

## 認定科目

### 【博士課程】

**Current Topics** ※必修「大学院特別講義」に振り替えることはできません。

### 【修士課程(医科学コース)】

選択科目「**大学院セミナー**」

第54回

# 難病・遺伝医学 セミナー

講演：難治疾患の遺伝子治療開発と実用化

2024年

4月24日 水 18:00-19:00

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

講師紹介：村松 一洋先生

(自治医科大学医学部 小児科学講座 教授)

座長：岡崎康司 (難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

司会：村山圭 (難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

**概要**：世界的に遺伝子治療や核酸医薬開発の進展は目覚ましく、欧米中でもアデノ随伴ウイルス (AAV) ベクターによる開発は特に進んでいる。国内でも遅ればせながら、脊髄性筋萎縮症に続き、遺伝性網膜ジストロフィーに対する遺伝子治療薬が承認された。そしてついに、米国ではゲノム編集による鎌状赤血球症とβサラセミアの治療が承認されるなど、開発競争は激化し特に欧米中の勢いは著しい。自治医科大学では、AAVベクターを用いた遺伝性難治疾患に対する遺伝子治療開発をAMEDなどの支援の基に精力的に展開し、代謝性疾患や血友病治療として肝臓を標的としたAAVベクター、変性疾患など中枢神経系を標的としたAAVベクターを主に開発してきた。中枢神経系に対してはすでに臨床試験を実施している。本セミナーでは、遺伝子治療の基本的な内容から、有効な治療法が限られた疾患に対するアメットメディカルニーズを充足するための研究開発と、現在の臨床応用についてご紹介する。治療開発での課題などを共有し、遺伝子治療に興味を持っていただき、理解を深めていただく機会となれば幸いです。

**申込方法**：以下の申込フォーム・QRコードよりお申込みください。

※開催日までに詳細と招待URLのご案内メールをお送り致します。

<https://forms.gle/gseNAh43311qE2Bz7>

本講演はハイブリッド形式 (現地 + Zoom)

にて開催いたします。



4月23日 (火) 17時締切

お問い合わせ

難病の診断と治療研究センター/ゲノム診療センター

村山/金野 (内線72462/5794)

共催：順天堂大学大学院医学研究科

順天堂大学大学院HP

